

【重要】がん検診の注意事項

安全に検査を実施するために、検査前の身体の状態や持病等の状況により、がん検診を受けることができない場合があります。以下の内容をご確認のうえお申し込みください。
 ※持病がある場合は、かかりつけ医等にご相談のうえ、お申し込みください。

胃がん検診について

【バリウム検査】

- ・バリウムによるアレルギーを起こしたことがある人
- ・食物で重篤なアレルギーを起こしたことがある人
- ・大腸疾患(腸閉塞・腸ねん転・大腸憩室炎・潰瘍性大腸炎等)の既往歴がある人
- ・3か月以内に大腸ポリープの内視鏡治療をした人
- ・腎臓病や心臓病などで水分制限を受けている人
- ・1年以内に胃や大腸(痔も含む)の手術をした人
- ・人工肛門を造設している人
- ・常時、酸素吸入をしている人
- ・検診当日も含めて4日以上排便がない人
- ・検診台にのることが困難な人
- ・飲み込みにくい、むせやすい人
- ・手足の力が弱い、寝返りにくい人
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある人

【胃カメラ検査】

- ・胃の全摘手術を受けている人
- ・胃疾患で治療を受けている人(ピロリ除菌中の人を含む)
- ・入院中の人
- ・咽頭、鼻腔などに疾患があり、内視鏡の挿入ができない人
- ・呼吸不全のある人
- ・心疾患(急性心筋梗塞、重篤な不整脈など)がある人
- ・出血傾向またはその疑いがある人
- ・収縮期血圧が極めて高い人
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある人

乳がん検診について

- ・豊胸術をしている人
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある人
- ・授乳中の人、断乳後6カ月未満の人
- ・心臓ペースメーカーや中心静脈ポートなどの機器を埋め込んでいる人

結核・肺がん検診について

- ・立位がとれない人
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある人

その他市が行う検(健)診

◆今回の申込書に記入欄はありません。

【健康診査】 ※5月下旬に受診券もしくはご案内を送付します。

健診種別	対象者	自己負担金
特定健康診査※	40歳以上の観音寺市国民健康保険加入者	1,000円 (40・45・50・55・60歳は無料)
後期高齢者健康診査※	後期高齢者医療被保険者で観音寺市に住所がある方	500円
一般健康診査※	40歳以上の医療保険未加入者(生活保護世帯)等で観音寺市に住所がある方	無料
国保・後期人間ドック	①観音寺市国民健康保険加入者で35～74歳の方 ②後期高齢者医療被保険者で観音寺市に住所がある方 市のがん検診のかわりに、人間ドックで乳がん・子宮頸がん検診のオプションを付けることもできます。	15,000円(オプション料金別) (3月号広報に詳細が掲載されます。)

問合せ先: 観音寺市健康増進課成人保健係 ☎(0875)23-3964

観音寺市 がん検診のご案内

令和6年度
保存版

がん検診の流れ

1 申込みをする

申込方法

このご案内をよく読み、「令和6年度がん検診申込書」にご記入し、①～③のいずれかでお申し込みください。
 ①家族分すべてを同封の返信用封筒に入れてポストに投函
 ②観音寺市健康増進課成人保健係(本庁1階④窓口)まで持参
 ③FAXで送信: (087)-881-6329 (公財)香川県総合健診協会まで



注意

- (1) 下記の検診を申込予定の方は重複する内容の検査のため、市が実施するがん検診の申し込みは不要です。
 〈申し込み不要の方〉
- 国保・後期人間ドックを希望する方(※詳細は裏面下部へ)
 - ※人間ドックにて乳がん・子宮頸がん検診のオプションを希望する方
 - 職場等でごがん検診を受診予定の方

(2) 日中連絡が取れる連絡先を記入してください。
 緊急時の連絡や市が実施する健康づくりに関する事業の案内等で使用する場合がありますので、予めご了承ください。

締切 **1月22日(月)**

2 時間予約をとる

- (1) 予約のご案内通知(はがき)をお届けします。
 (2) 予約受付期間内に電話で日時の予約をしてください。



3 問診票などが届く(申込者のみ)

4 検診を受診する

5 検診結果通知を受け取る

約1か月後にご自宅に届きます。
 指定医療機関で大腸がん・胃がん検診を受診した方は、医療機関から説明があります
 ～精密検査が必要と判定されたら、必ず医療機関で精密検査を受けるようにしましょう～

がん検診は1年に1回(子宮頸がん・乳がん検診は2年に1回)継続して受けましょう。
 また、精密検査が必要な場合は必ず受診しましょう。
 ※医療機関で治療・経過観察中の方は市のがん検診を受けず、医療機関受診を継続してください。また、症状がある方は、必ず医療機関で受診してください。

同封の「令和6年度がん検診申込書」にご記入のうえ、
令和6年1月22日(月)までにご提出ください。



◆ がん検診について ※内容につきましては、一部変更する場合があります。詳しくは、各種検診の案内通知や広報等でお知らせします。

集団検診：市内の指定場所で検診車(バス)等で行う検診です。



検診の種類	対象者(年齢基準日は令和7年4月1日)					自己負担金	検査内容と方法	検診時期(予定)
	20歳~39歳	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上			
結核・肺がん	●	●	●	●	●	64歳以下 200円 65歳以上 無料	・胸の엑스線検査	4・5月
						500円	・喀痰検査(엑스線検査と併用) ※喀痰検査のみは不可 1) 엑스線検査当日に容器を配布 2) 3日分の痰をとって提出	※日時・場所指定でのご案内になります。 全市(補充) 11月
大腸がん		●	●	●	●	40歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 500円 70歳以上 300円	・便の潜血検査 1) 採便容器が届く 2) 2日分の便をとって提出	
胃がん		●	●	●	●	69歳以下 1,300円 70歳以上 500円	・胃の엑스線検査(バリウムを飲んで撮影)を行います。	
子宮頸がん		●	●	●	●	21,35歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 1,000円 70歳以上 500円	・子宮頸部細胞診 1) 医師による診察(内診) 2) 細胞診 子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取し、異常がないか検査します。 ※子宮の手術を受けたことがある方は、主治医にご相談ください。	<要予約> 観音寺地区 6月 大野原地区 7月 豊浜地区 7月 全市(補充) 11月
乳がん		●	●	●	●	40歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 1,500円 70歳以上 500円	・マンモグラフィ検査(乳房を挟んでレントゲン撮影)を行います。	

— 全市(補充)11月は、大野原いきいきセンターで行います。また、受診いただける人数に限りがあります。 —

☆無料クーポン券対象年齢
21歳(平成15年4月2日~平成16年4月1日生まれ) 35歳(平成元年4月2日~平成2年4月1日生まれ)
40歳(昭和59年4月2日~昭和60年4月1日生まれ)

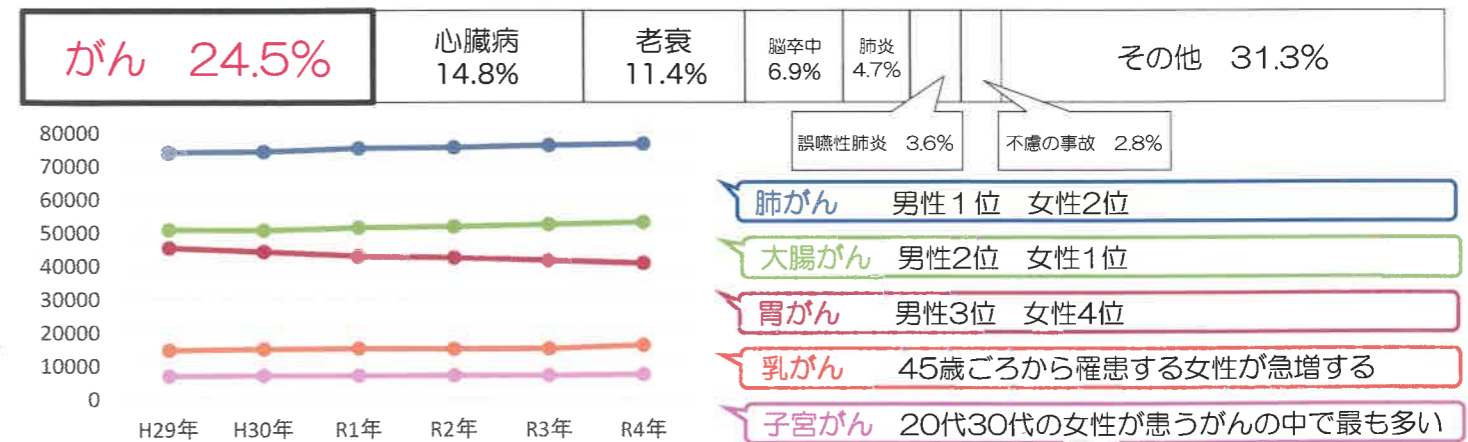
☆胃内視鏡検査(医療機関検診)対象年齢
50歳(昭和49年4月2日~昭和50年4月1日生まれ) 60歳(昭和39年4月2日~昭和40年4月1日生まれ)
52歳(昭和47年4月2日~昭和48年4月1日生まれ) 62歳(昭和37年4月2日~昭和38年4月1日生まれ)
54歳(昭和45年4月2日~昭和46年4月1日生まれ) 64歳(昭和35年4月2日~昭和36年4月1日生まれ)
56歳(昭和43年4月2日~昭和44年4月1日生まれ) 66歳(昭和33年4月2日~昭和34年4月1日生まれ)
58歳(昭和41年4月2日~昭和42年4月1日生まれ) 68歳(昭和31年4月2日~昭和32年4月1日生まれ)

医療機関検診：ご都合の良い日時にご予約のうえ、指定医療機関で受ける検診です。



検診の種類	対象者(年齢基準日は令和7年4月1日)					自己負担金	検査内容と方法	検診時期(予定)
	20歳~39歳	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上			
大腸がん		●	●	●	●	40歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 500円 70歳以上 300円	・便の潜血検査 1) 採便容器を医療機関でもらう 2) 2日分の便をとって提出	指定医療機関 6~10月
胃がん			●	●		3,000円	・胃の内視鏡検査	指定医療機関 4~11月
子宮頸がん		●	●	●	●	21,35歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 2,100円 70歳以上 500円	・子宮頸部細胞診 1) 医師による診察(内診) 2) 細胞診 子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取し、異常がないか検査します。 ※子宮の手術を受けたことがある方は、主治医にご相談ください。	指定医療機関 4~2月
乳がん		●	●	●	●	40歳 無料クーポン券をお送りします。 69歳以下 1,500円 70歳以上 500円	・マンモグラフィ検査(乳房を挟んでレントゲン撮影)を行います。	香川井下病院 三豊総合病院 かじかりクリニック(三豊市高瀬町) 4~2月 ※香川井下病院、三豊総合病院は日時指定のご案内になります。

★日本人の死因とがんの動向
がんによる死亡者数は、昭和56年に脳卒中を抜いて以降、日本人の死因の第1位となっています。



いずれも令和4年人口動態統計の年間推計より
がん検診は、早期のがんを見つけて早めに治療を行うことで、がんによる死亡率を低下させるという素晴らしいメリットがありますので継続して受診しましょう。一方で、がん検診技術は目ざましく進歩しているものの、がんの場所や種類によっては見つけづらいことがあり、100%の精度ではありません。また、自然に消えてしまうようなものや良性ですぐに治療しなくても問題ないものもありますが、それは二次検診や疑わしい部分の組織を調べて初めて判ることなので精密検査が必要な場合は必ず受診しましょう。